

# ラジオ体操を 広げる人 × 市議会

今回はラジオ体操を広げる活動をしている皆さんにお集まりいただき、ラジオ体操を始めたきっかけや続けて良かったことなどについてお話を伺いました。

## 血行が良くなつて、朝ご飯も美味しい。 早寝早起きと暴飲防止もできる。

### 〈ラジオ体操を始めたきっかけは？〉

■健康推進委員の役員になり、何か行事をしたいなと思って ■会社を定年退職してから、朝早く散歩をしていたら、公園でラジオ体操をやっていたから ■若いときに運動で体を壊して、40歳まで運動ができなかったけど、また体を動かせるようになって、学生の頃よくやっていたラジオ体操を懐かしく思っ

パチンコばかりやっていたので、知人に誘われて始めました

### 〈各グループの最高齢は？〉

■94歳の男性です。真冬でも自転車ですてきます ■91歳の女性です。とても健脚でラジオ体操をする前に歩いて来て、ラジオ体操をしてまた歩いて帰っている ■92歳の女性です。その方が一番出席率が良いので、参加し

ている方たちがその人を目標にしている ■89歳の女性です

### 〈コロナ禍での活動は？〉

■外なので、マスクをはずすと続けていました ■2週間だけ休みましたが、マスクをして続けていた ■東京都の緊急事態宣言中はやめて、もういいよといったときはマスクをしてやっていました ■大雨の時は以外は、1年中関係なしにやっています

### 〈ラジオ体操を続けて良かったことは？〉

■血行が良くなつて、朝ご飯も美味しくいただける。本当にいい朝を迎えられる。あと、早寝早起きと暴飲防止。21時にはもう寝て、4時に起きて、新聞を見て、お茶を少し飲んで、それからゆっくり出て行く ■規則正しい生活と、朝の時間がとてもたくさんあるので仕事が始まるまで余裕があって、とても活用できています ■ラジオ体操に行ったら、それで1日の体操はもう十分できているので、いろいろな活動ができる。自分が与えるのではなく、皆さんから勇気や健康をいただくので、それで頑張れる。皆さんの顔を見て話したら、つい笑いたくなる ■一番いいところは、朝決まった時間に起きたり、決まった時間に出かけられること

### 〈市議会や市に期待することは？〉

■ラジオの電池がすぐに切れるので、コンセントが使用できたらいいな ■外でやっているの、目いっぱい音を出しているから電池がすぐになくなって、ラジオが壊れてしまつた。20年来の悩みです。電源を使わせて欲しいです ■中央公民館の駐車場やらせてもらえて、電源もお借りできたら、本当に皆さん喜ぶと思います



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

● **第1回臨時会議**  
**第2回臨時会議** ●  
**6月定例会議** ●  
**あきる野市の**  
**こんなことが決まりました。**

第1回臨時会議 4月27日  
 第2回臨時会議 5月10日  
 6月定例会議 会議期間22日間 6月1日～6月22日

第1回臨時会議の議案は  
 市長提出議案…………… 1件  
 第2回臨時会議の議案は  
 市長提出議案…………… 1件  
 6月定例会議の議案は  
 市長提出議案……………21件  
 陳情…………… 1件  
 議員提出議案…………… 1件

今号では  
 この中から  
 7つを **Pick up**

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

〈議案第58号〉 あきる野市営住宅条例の一部を改正する条例

**Pickup 2**

**市営住宅の申込資格を一部見直します。**

常時介護を必要とする障がいがある人も、単身で市営住宅に入居できるようになります。また、東京都パートナーシップ宣誓制度等により証明を受けたパートナーシップ関係の相手方も、市営住宅への入居が可能になります。

こんな質問・意見が出ました。

**Q** 常時介護を必要とする人から入居申込みがあった場合、どのように対応するのか。  
**A** 福祉等の関係部局や居住支援団体と連携して対応する必要があると考えている。

意見

今後、雨間ハイツに入居している高齢者に介護が必要になったとき、どこまで支援するのか、合理的配慮をどうするのかについても、早急に整理するよう要望し、賛成する。

意見

性的マイノリティの当事者が、安心して住むことができる環境づくりに一歩前進したと評価し、賛成する。



〈議案第41号〉 令和5年度あきる野市一般会計補正予算(第3号)

**Pickup 1**

**市民プール(屋内プール)を改修します。**

屋内プールは、貯湯槽設備の故障により、温水シャワーが使えなくなり、2月から休館しています。そのため、新しい貯湯槽設備を設置し、劣化しているプール槽及びプールサイドの床面の塗装工事を実施します。

こんな質問が出ました。

**Q** 前回の塗装の修繕はいつ行ったのか。  
**A** 平成16年に実施している。貯湯槽を確認した際、プール層内のぬめりと剥がれを確認したため、今回のプール休止期間に併せて実施する。

安定した市民サービスにつながるものと考えている。

**AQ** 工期等のスケジュールは。夏休み前までには再開したいと考えているが、材料や給湯器の納期の状況によっては、再開時期が遅れてしまうおそれがある。



〈議案第60号〉 令和5年度あきる野市一般会計補正予算(第4号)

**Pickup 3**

**南秋留小学校の特別支援学級の会計年度任用職員を増員します。**

南秋留小学校の特別支援学級数が、予算編成時の見込みより1学級増えたため、介助員の会計年度任用職員を増員します。

こんな質問が出ました。

**Q** 南秋留小学校の特別支援学級がオープンして2か月経つが、市としてどのように評価及び分析をしているのか。  
**A** 児童は新しい学級になじみ、順調な活動を行っていると捉えている。また、通常の学級の児童等との交流及び共同学習についても頻繁に行われており、学校全体との関わりも順調な形で行われていると捉えている。

**A** あらかじめ5つの教室を用意しており、大小組み合わせを実施できるため、問題はないと考えている。

AQ

児童の通学範囲は。南秋留小学校の学区内の児童が3人、学区外の児童が8人となっている。



**Q** 1学級8人が定員のところ、11人が通学しているが、教室などの施設について問題はないのか。

### Pickup 4 予防接種法に基づく疾病が認定された方に、医療費及び医療手当を給付します。

コロナワクチン接種後の副反応により健康被害を受けた人が、予防接種健康被害救済制度の認定を受け、医療費及び医療手当の支給を受けられることになりました。

こんな質問が出ました。

**Q** 副反応に関する相談・申請等の件数は。

**A** 相談件数32件、申請件数12件、認定件数4件、審査待ち件数8件。

**Q** 審査待ちの人の最長期間は。

**A** また、申請から審査結果までの程度の期間を要するのかが市が進達してから1年5か月を経過した人がある。国の疾病・障害認定審査会に審査状況を確認したところ、審査未了件数が4400件以上あるとのことで、審査結果が届くまでには一定期間を要すると認識している。



### Pickup 5 令和5年10月からキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施します。

物価高騰の影響を受けている中小企業や市民の状況を踏まえ、地域経済の活性化及びデジタル化の推進、市民の生活応援を図るため、あきる野商工会及び檜原村と連携して、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施します。対象店舗で、指定するキャッシュレス決済サービスを利用して支払いを行った場合に、決済額の最大20%がポイントで還元されます。

こんな質問が出ました。

**Q** 使い方がわからない人への対応はどのように進めるのか。

**A** 市民向け説明会を9月から10月にかけて4回実施予定。

**Q** 市内店舗のキャッシュレス決済の導入状況は。

**A** 正確な数字ではないが、市内に卸・小売業、宿泊業、及び飲食・サービス業が約800店舗ある中で、約600店舗がキャッシュレス決済に対応できると想定している。

**Q** 市内事業所に対するフォローはどのように考えているのか。



**A** 商工会への補助金として9万円を計上している中で、7千万円がプレミアム相当分、2千万円が事務費となっている。その中には、商工会で行う地域の店舗に対する対策も含まれている。

### Pickup 6 秋川高校跡地及びその周辺地区のまちづくりビジョンを策定します。

秋川高校跡地及びその周辺地区に係るまちの将来像やまちづくりの方向性を明らかにした指針として、まちづくりビジョンを策定します。

こんな質問が出ました。

**Q** 委託料の内容は。

**A** 地区の特性や課題等の整理、将来像の設定、実現化の手法の整理、学識者による検討会議の運営支援、ビジョン案の作成支援。

**Q** 市民への公表のタイミングは。

**A** 段階的にビジョン策定に取り組む中で、会議で検討することに関しては、その都度、議事録と審議内容等を公表する予定。

周辺地区の対象として検討を進める。

### Pickup 7 子ども医療費助成の拡充を求める意見書を提出します。

令和5年度から東京都が実施している高校生等医療費助成事業は、令和8年度から各自治体にとって重い負担が生じる仕組みとなっており、子育て支援を継続的に実施していくために、都の責任において恒久的な財政支援を図るよう、制度の再構築を求めるものです。議員全員が賛成し、意見書を提出します。

議案提出会派・提出先

- 議案提出会派
- 自由民主党志清会

- 賛成会派
- 公明党
- 日本共産党あきる野市議団

- 提出先
- 東京都知事
- リメンバー



# 聞いてみたいな こんなこと



## 一般質問

### 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問でああなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 20人 質問項目 42件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継」を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

### 保育所等訪問支援の利用促進について



辻 よし子  
(くさしぎ)



保育所等訪問支援は、子どもの特性に応じて集団生活を送れるよう、専門家が現場に向いて支援する取組だが、創設10年を過ぎた今も十分に普及していない。

市内の利用状況及び学校への訪問支援件数は、

**A** 令和元年度までは利用実績はなく、令和2年度が1人、令和3年度が2人、令和4年度が6人。また、学校への訪問支援件数は、令和4年度小学校1件、中学校1件。

**Q** 利用に障害者手帳や医学的診断の有無は問わないという制度の正しい情報を、障害児相談支援事業所に改めて伝える必要があるのでは。今後、事業所へ連絡をする際などに確認し、必要に応じて周知する。

**Q** 障がい者支援課と保育課や教育委員会との間で情報共有等の連携はしていたのか。特に情報共有等はしていないが、利用している児童に關して、連携した支援が必要であれば、関係部署で情報共有等していく。

**Q** 校長会を通じて制度の周知に努めてほしいが。

**A** 学校と保護者、関連機関との連携は必要不可欠であり、校長会や特別支援教育コーディネーター連絡会等でも改めて周知を図っていく。

他に会計年度任用職員制度の見直しについて質問した。



### 不登校対策について



増崎 俊宏  
(公明党)



**Q** 不登校の児童・生徒の保護者の会にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣するなど支援ができないか。

**A** 現在の対応状況から、コーディネーターとして継続した役割に就くことは難しい。

**Q** 不登校の児童・生徒が自宅にいても学習を進められるよう、オンラインでの指導やテストなどを受けられる教育環境の整備ができないか。  
**A** 教室と対象児童・生徒の自宅をオンラインでつなぐ授業を行った例はある。学力・ICT向上推進委員会や生活指導主任会等、各校の



**Q** ICT担当者や不登校担当者が集まる場で情報共有し、不登校児童・生徒への端末活用を進めていきたい。

**A** ICT担当の生徒の多様な学びの場が拡大している中、そこで学びが学習成果として評価されないため、高校進学の見込みが制限されている問題がある。成績に反映できないか。

**A** 現時点では通知表など成績に反映することは難しいが、多様な学びを認め、どの児童・生徒にも励みになる評価については、学校と共に研究を続けていく。

他に情報のユニバーサルデザイン化について質問した。

### 協働のまちづくりに



浦野 治光  
(自民党志清会)



**Q** 協働のまちづくりの担い手確保のため、協働の必要性や定義、在り方や主体など、協働に関する基本的な事項をまとめた方針の策定は。

**A** 協働によるまちづくりの具体的な方針を策定する必要がありと認識しているため、鋭意取組を進めていく。

**Q** 職員は協働の主體的な推進役であるため、職員研修に新たに協働のまちづくりの項目を設定してはどうか。  
**A** 新規採用職員や職層別の研修に、協働のまちづくりの講義を取り入れるなど、実施に向けて検討していく。

**Q** 協働のまちづくりを進めるため、令和5年度施政方針でタウンミーティングに取り組むとあるが、時期と開催方法は。



## 中学生の職場体験について



よしざわゆたか  
(自民党志清会)



東京都教育委員会では、平成17年度より、中学生に社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職場観を育成することを目的として、中学生の職場体験を実施している。本市では、この趣旨を踏まえ、各中学校の生徒や特別支援学級在籍生徒などが3日間程度、市内等の事業所で職場体験を実施することを推進していると聞いている。そこで以下伺う。

**Q** これまでの実施状況と現状は。  
**A** 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った。令和3年度は、一部の学校を除いて実施した。令和4年度は、全校が実施した。今年度については6月から11月の間に全校が実施予定。

**AQ** 受入れ事業所の職種と数は。  
**Q** コロナ前の令和元年度は市関連施設をはじめ、病院、幼稚園・保育園、高齢者施設、小売販売店など、145事業所。令和3年度は38事業所。令和4年度は108事業所。

他に本市における教員の未配置の状況について質問した。



## 技術系職員の採用・育成について



白井 建  
(自民党志清会)



**Q** 土木や建築等の技術系職員の確保は重要な課題だが、技術系職員の採用について市の今後の取組は。  
**A** 技術系職員の直近の募集では申込みはなかった。今後は東大和市の例を参考に技術職の通年採用試験実施に向けて作業を進める。

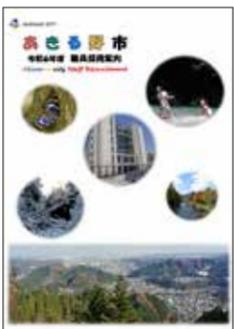
**Q** 職員採用募集について、ホームページに技術系職員向けのサイトを設けたり、採用後の仕事のイメージが湧くような工夫は。  
**A** 技術系職員向けのサイトを別に設けることは有効である。また、そのサイトの中に、これまで技術系職員が取り組んできた仕事の成果の映像等を加えることも有効。今後、実施に向けて検討する。

**Q** 技術系職員採用後の育成について、将来を見据え、東大和市の例を参考に技術職の通年採用試験実施に向けて作業を進める。

**A** 職員採用募集について、ホームページに技術系職員向けのサイトを設けたり、採用後の仕事のイメージが湧くような工夫は。

**A** 技術系職員向けのサイトを別に設けることは有効である。また、そのサイトの中に、これまで技術系職員が取り組んできた仕事の成果の映像等を加えることも有効。今後、実施に向けて検討する。

**Q** 技術系職員採用後の育成について、将来を見据え、東大和市の例を参考に技術職の通年採用試験実施に向けて作業を進める。



## 都市計画マスタープランについて



国松まさき  
(自民党志清会)



**Q** 自治体維持のためには、転入者を増やす必要がある。市街化調整区域における空き家の有効活用の施策は。  
**A** 都の開発許可基準に沿った区域再生に資する空き家を既存建築物の用途変更として許可できるようにしている。

**Q** 圏央道の南北全面開通により広域ネットワークが築かれた。交通網整備や産業機能誘致に対する、本市の都市計画上の施策は。  
**A** 圏央道を生かす市街地整備の中で、牛沼の初雁地区や秋川高校跡地の産業系市街地整備に取り組んでいる。

**Q** 本市の免許返納者は毎年3百人規模で増えている。深沢地域の公共交通に対する本市の見解は。  
**A** 令和6年度に策定予定の地域公共交通計画の取りまとめに当たり、実証実験の結果等を考慮し検討する。

**Q** 生物多様性国家戦略において環境省が進める「30by30」について本市の考えは。  
**A** 国の方向性を踏まえながら、市の緑地管理や協働の森づくり、景観整備や横沢入地区の保守管理等を継続していく。

**Q** 旧小宮小学校での小宮ふるさと自然体験学校の更なる活用が養沢地区の活性化につながるかと考えるが。  
**A** 一般の人が、気軽に立ち寄れるよう工夫し、自然体験学校の更なる活性化に取り組む。



## 観光シーズンの安全対策について



たばたあずみ  
(共産党)



**Q** 「秋川渓谷に遊びに来て」という呼びかけと「ライフジャケットを持ってきて」という呼びかけはセットであるべき。市のホームページの観光情報の目立つところに入れることはできないか。現在できる対応としてお知らせから見られるようにしている。観光の頁だけ凝ってつくってしまったため、逆に目立つ画面に組み込まない状況だが、本格的なシーズンに合わせて対応できればと考えている。

**Q** 保育園や学校等の行事の際の水辺でのライフジャケット着用はもちろん、レジャー客にも着用を呼びかける必要があるのではないか。

**A** 誰でも利用できる公共の河川においては、ホームページや看板設置による注意喚起等、これまで同様に河川管理者の国土交通省、東京都、あるいは所管の警察署と連携を図りながら対応していく。他に学童クラブの内容充実について質問した。



## 野辺土地区画整理事業地の通学区域について



ひら 省吾  
(自民党志清会)



**Q** 現在、野辺土地区画整理事業が進み、今後、同地区内の子どもたちも増えていくと予想されるが、事業地内に居住する児童の通学区域指定について、どのように考えているのか。

**A** あきる野市立学校通学区域に関する規則では、野辺地区は東秋留小学校、小川地区は前田小学校の就学を指定しているが、事業地内から前田小学校への通学は、河川区域等の安全確保が困難なため、東秋留小学校に統一する規則の改正を行った。

**Q** 東秋留小学校と前田小学校までの距離や時間などの違いは。

**A** 概ね東秋留小学校までは1.2キロメートルで15分程度、前田小学校までは河川区域の遊歩道を使用した場合、1.1キロメートルで15分程度。

**Q** 中学校に通う生徒の通学区域を変更する必要があるか。各小学校毎に通学する中学校を定めているため、変更の必要はない。

**Q** 市内の他の小学校に通っている児童が、事業地内に引っ越した場合、現在通っている小学校に引き続き通うことはできるか。

**A** 一定の条件を満たす場合に、指定校の変更は認められる。他に農地法の一部改正について質問をした。



## 崖・はけの安全対策について



堀江 武史  
(自民党志清会)



10か所あることを確認している。

**Q** 市が単独で対策工事を行う考えはあるか。

**A** 現在、急傾斜地崩壊防止工事として都と共に取組を進めている。今後も国や都と連携して進めていきたいが、市が単独で対策工事を行うということは難しいと考えている。

**Q** 盛土規制法の適用範囲は。また、崩落危険箇所を把握しているのか。

**A** 市内全域が宅地造成等工事規制区域となる見通しであり、現在、指定を行う都との調整を進めている。土砂災害特別警戒区域が740か所、砂防指定地が指定されている。渓流が15か所、急傾斜地崩壊危険区域が7か所、地すべり防止区域が1か所、大規模盛土造成地が



## あきる野の出産・子育て応援事業について



窪島 成一  
(自民党志清会)



本市では、国の出産・子育て応援交付金事業に基づき、あきる野の出産・子育て応援事業が、令和5年3月から開始されている。妊娠期から、出産・子育て期まで一貫した支援が大切であると考え、以下伺う。

**Q** 具体的な実施方法は。保健師等による面談、出産応援ギフトの配布、出産準備状況のアンケート調査、子育て応援ギフトの配布など。



**Q** 保健師からの専門的な支援のほかに、同じ妊産婦同士で悩みの共有や、情報交換のできる場があるのか。

**A** 妊娠期には、母親学級、両親学級、出産後は子育てひろばで参加者同士が交流できる時間を設けている。

**Q** 転入や転出する場合、その後の支援はどうなるのか。転入した人は、前住所地の支援を引き継ぐ。転出する人には、居住する自治体に情報提供し、継続した支援が受けられるように引継ぎを行う。

**Q** 子どもが満1歳を迎えるまでは、特に大変な時期だと思いが、1歳までの支援体制はどうなっているのか。新生児訪問やこんにちは赤ちゃん訪問の後は、健診や育児相談などで継続した支援を行う。

**Q** 子どもが満1歳を迎えるまでは、特に大変な時期だと思いが、1歳までの支援体制はどうなっているのか。新生児訪問やこんにちは赤ちゃん訪問の後は、健診や育児相談などで継続した支援を行う。

## 市庁舎の活用について



中村 一広  
(自民党志清会)



**Q** 出店場所や時間帯は。本庁舎の東側入口周辺の2台分のスペースにて、午前10時から午後3時までを予定している。

**Q** どのように、市民への周知を行っているのか。

**A** 市の広報紙やホームページ、あきる野商工会のホームページに掲載し、周知を行う。他に高齢者の支援について質問した。

**Q** 令和4年12月定例会議の一般質問において、市民にとってもっと身近な施設にしていくべきと考え、市庁舎の活用について質問した。その後、どのような検討をしてきたのかの見解を伺う。

**A** 提案のあったキッチンカーによる飲食の販売について、市民サービスや地域産業の振興、経済活動の向上などが考えられることから、本庁舎の敷地内に試験的にキッチンカーが出店できるよう準備を進めている。



## 災害に強いまちづくりに ついて



大久保 昌代  
(公明党)



災害時に水道が使用できなくなり、消火栓を使う例があるが、水道管破損被害の影響で消火栓が使えないことが問題となっている。

市内には東京都が指定した6か所の給水拠点があるが、拠点から遠い地域にも消火栓から飲料水を供給できるような体制整備について、どのように進められているのか。

都から消火栓を利用して飲料水を供給するための応急給水資機材の貸与を受けている。市立小学校の体育館や避難所には、給水管に応急給水栓が設置しており、供給できる体制を整備している。



現在、本市には女性消防団員がいないが、他市の状況は多摩26市の中で、実際に女性消防団員を採用しているのは18市。

本市における女性消防団員の募集や活躍について、どのような考えをもっているのか。

今後、本市の消防団においても女性の活躍が期待できると考えているので、その活動内容や女性が安心して活動できる施設の整備などについて、消防団幹部の意見を踏まえつつ、あきる野市消防委員会において協議していきたい。

他に特別支援学級の充実と整備に関する市の取組について質問した。

## 男女共同参画について



松本 ゆき子  
(共産党)



第5次あきる野男女共同参画プランは、全ての人が多様性を認め互いを尊重し合い、あらゆる分野で自らの個性と能力を十分に発揮し輝くことができる社会づくりに基本理念としているが、今後の具体的な取組は、

多様性や多文化共生の理解促進に取り組むに当たり、外国にルーツのある方や性的マイノリティの現状を把握するため、多文化共生等に関連した活動団体等にヒアリングを実施中。今後はヒアリングの結果や先進自治体の取組事例等を基に、具体的な方策を研究・検討する。

男女共同参画センターを設置している自治体数と設置していない自治体名を伺う。都内62区市町村のうち、設置は23区、18市、合計41団体。設置していない自治体

は青梅、小金井、東村山、福生、狛江、東大和、羽村、あきる野の8市と13町村。

令和4年度の男女共同参画プラン推進状況報告書が出るのはいつ頃か。

市民会議での意見等も踏まえ、9月を予定している。

男女共同参画推進本部において、専門部署の設定とセンター設置について審議することを望むが、いかがか。

専門部署及びセンター設置は考えていない。

他に公共交通、歩道の改修について質問した。



## 屋外市民プールについて



関口 えり子  
(共産党)



屋外市民プールは、老朽化のため令和3年から停止している。プール再開を望む声もある中、あきる野市スポーツ推進審議会では、廃止の答申を出したと聞いている。そこで以下伺う。

あきる野市スポーツ推進審議会では屋外市民プールについて、どのような話し合いをしてきたのか。

施設の老朽化により大規模改修が必要となっているが、地球温暖化という環境の変化や高額な改修費用に対し、年間50日程度の事業は有効な活用とは言えない等の課題が出された。また、子ども水遊びの場や水泳の機



会は必要であるが、屋外プール以外の施設で取り組むことが可能であるといった意見が出されている。

平成29年度から令和3年度までの5年間に行われた修繕の件数や金額は。

指定管理者が16件で約360万円、市が5件で約740万円となっている。

市民の意見を聞く機会を設けるべきだと思うが、どう考えているか。

これまでも、あきる野市スポーツ推進審議会で議論されており、そこで出された意見等を踏まえ市として対応を検討していくことになる。

他に新型コロナウイルス感染症5類移行後の感染症対策、非核平和都市宣言の進捗状況について質問した。

## 今後の健康福祉部運営について



天野 正昭  
(自民党志清会)



健康福祉部ではコロナ対応に追われていたが、これからはコロナの後処理と通常活動が行われると考える。そこで以下伺う。

低下した生活の質の回復に對し、どの様に対応していくのか。

各種教室等を再開していく中で、参加者の身体機能等の向上を図るためのプログラムを取り入れるなど創意工夫をする。また、コロナ禍で低下したがん検診や特定健康診査の受診率の向上を図り、市民の健康寿命が延伸されるよう取り組む。

健康福祉部の新しい施策は、多様な主体と協働し、計画に掲げた施策や取組を推進する。また、地域共生社会の実現を図るための取組として、複雑化・複合化した課題を抱える個人や世帯に對する包括的な支援体制の構築が課題となっているので、制度や分野を越えた支援の方策について検討していく。

他にスポーツ活動推進のための施設整備について質問した。



## 障がい者の差別解消推進について



原田ひろこ  
(公明党)



障害者差別解消法が平成28年4月1日に施行された。その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることは重要と考え以下伺う。

**Q** 障害を理由とする差別に関する相談窓口の相談状況は、障がい者相談支援センターにおける令和3年度の総相談件数5251件のうち、権利擁護等の障害者差別に関する相談件数は約1%。

**A** 障がい者支援課の相談窓口での対応、相談件数は。件数はごく僅か。対応策の助言や権利擁護センターの紹介を行ったことがある。

**Q** 障がい者支援課の相談窓口での対応、相談件数は。

**A** 障がい者支援課の相談窓口での対応、相談件数は。件数はごく僅か。対応策の助言や権利擁護センターの紹介を行ったことがある。



出典：障害者差別解消法リーフレット(内閣府)

**Q** 障がい者支援課の相談窓口の周知の必要があると考えるが改善はできないか。情報を整理しながら、相談窓口も分かりやすくするよう改善する。

**Q** 12月の障害者週間、4月の発達障害啓発週間も含め、市ホームページやSNSを活用し、周知・啓発活動に取り組んではいかがか。

**A** 市民に障がい者福祉への関心と理解を深めてもらうためには、市ホームページに、通年で掲載するとともに、SNSで情報発信していくことも必要であると考え。今後、市ホームページの改善と併せて取り組んでいく。

他に発達障がい児の支援の充実、ディスレクシアの支援について質問した。

## H.U.グループホールディングスとの連携について



子籠 敏人  
(自民党志清会)



**Q** 令和元年の9月定例会議で、前身のみらかホールディングスとの連携について一般質問したが、その後の取組状況や今後について伺う。

**A** 医療や教育に加え、子育て支援や環境保全、地域経済の活性化など様々な分野で、H.U.グループホールディングスとの連携が可能か検討している。現在の取組状況としては、H.U.グループホールディングスと市との包括協定の締結を視野に入れながら、連携事項について調整を重ねている。今後、調整が完了した段階で、H.U.グループホールディングスと市との連携の具体について、市議会に報告できるものと考えている。

他に自動販売機の設置、投票支援について質問した。



## 犬または猫へのマイクロチップの装着について



清水 晃  
(明るい未来)



**Q** 動物の愛護及び管理に関する法律第39条の2中、犬猫等販売業者以外の犬又は猫の所有者は、その所有する犬又は猫にマイクロチップを装着するよう努めなければならないとしているが、本市では何%装着しているのか。

**A** 本市でもマイクロチップの装着補助を検討できないか。令和4年6月から、飼い犬や飼い猫へのマイクロチップの装着が努力義務化されたことを受け、普及啓発を図るために、装着費用の一部を補助する自治体があることは認識している。本市では現在のところ考えていないが、今後調査・研究したいと考えている。

**A** 本市の令和5年3月末日時点での飼い犬の登録頭数は4452頭で、うち、マイクロチップを装着している登録頭数は386頭、装着率は約8.7%。飼い猫の頭数は把握していないが、装着頭数は149頭となっている。



## 学校の見える化について



中村のりひと  
(明るい未来)



**Q** 本市の各中学校において、制服代、体操着代などの金額に違いがあると思うが、それぞれいくらか。

**A** 男女別に、標準服に当たる組合せが多様なため、標準的な上着に加え、男子はスラックス、女子はスカートとスラックスを足した合計額で、秋多中が男子3万5200円、女子4万8180円、東中が男子3万6080円、女子4万8730円、西中が男子4万1480円、女子5万5260円、御堂中が男子4万2387円、女子5万6414円、増戸中が男子3万4100円、女子3万4210円だが、女子にはスラックスの指定がない。五日市中が男子4万7740円、女子7万1500円。



**A** 市民が、住む場所によって標準服の金額に大きな違いがあるのは、保護者の立場からすれば戸惑いや違和感もある。標準服の金額に応じた市の公費負担等、何かしらの検討ができないか。標準服の金額に応じた新たな公費負担の考えはない。

他に都市計画道路について質問した。

※ディスレクシア 学習障害のひとつのタイプとされ、全体的な発達には遅れはないが、文字の読み書きに限定した困難があり、そのことによって学業不振が現れたり、二次的な学校不適応などが生じる疾患



# あきる野市議会活動レポート

## 秋川流域がん対策推進議員連盟総会



5月17日に公立阿伎留医療センターで、がん検診受診率向上などを目的とした「秋川流域がん対策推進議員連盟」の総会が開催され、議員が出席しました。総会終了後、同センター院長 こんどう よしあき 根東 義明氏による記念講演が行われました。

## 視察受け入れ



議会だよりのリニューアルの経緯と編集に係る、視察を受け入れました。広報広聴委員が説明を行い、終了後、質疑応答や意見交換を行いました。(滋賀県甲賀市議会)

## 議員研修会



7月10日に兵庫県西脇市議会議長 はやしはるのぶ 林 晴信氏を講師に招き「西脇市議会のデジタル化の取組と委員会中心主義」というテーマで研修を行いました。

## オンラインで模擬委員会を実施



オンラインによる委員会を円滑に運営するため、継続的に各常任委員会で模擬委員会を実施しています。(6月13日・14日・15日)

# 大人の発達障害について



しょうじ さとし (リメンバー)



**Q** 発達障害がある子どもへの理解や支援は社会で着実に進んでいる。大人の発達障害についても、社会的な課題、支援の必要性が明らかになってきているが市の認識は。

**A** テレビなどのメディアで大人の発達障害が取り上げられるようになり、それらを見て、自身で発達障害の特性があると感じた人が受診した結果、発達障害と診断されるケースが増えてきていると理解している。

**Q** 市内の発達障害の大人についての推計は。

**A** 他に有機農業・環境保全部の農業の推進について質問した。

**Q** 大人の発達障害は気づくまでが難しく、発達障害と分からずに困難を抱え続け、大人が発達障害が広く理解されるための市の取組は。

**A** 障がい者福祉全般に関する取組はしているが、大人の発達障害に特化した周知や啓発活動は行っていない。

**Q** 大人の発達障害の支援に特化した研修の受講を考えると、あきる野市職員研修要綱等に基づき、毎年度作成される研修概要によって、定期的に研修を受講している。



## 主な議案等に対する会派の賛否一覧

議案等番号	件名	議決結果	自由民主党 志清会 (11人) ※1	公明党 (3人)	日本共産党 あきる野市議団 (3人)	明るい未来 を創る会 (2人)	くさしぎ (1人)	リメンバー (1人)
議案 41	令和5年度あきる野市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○
議案 56	あきる野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	×	○	×	×
議案 57	あきる野市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○
議案 58	あきる野市営住宅条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
議案 60	令和5年度あきる野市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○
議案 61	令和5年度あきる野市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	×	○	×	○
議案 62	令和5年度あきる野市秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	×	○	×	○
議員 5-6	子ども医療費助成の拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○

※1 議長は賛否に加わらない。

○：賛成 ×：反対